

エタシペ コムイ (パナンペとペナンペ トドのシラミ)

①

ペナンペ アン パナンペ アニネ シラニケ
Penanpe an Pananpe an hine siran hike

ペナンペと パナンペがいた。

シネ アン ベ タ パナンペ ピシ タ サナクス
sine an pe ta Pananpe pis ta san akusu

あるとき パナンペが はまに おりと

ポロ エタシペ ヤニネ アン
poro etaspe yan hine an

おおきな トドが はまに あがっていた。

ヒネ
hine

そこで

「エタシペ! アエコムイ ナ!」
“etaspe! a=e=komuy na!”

「トドさん! シラミを とってあげるよ!」

セコロ ハウエアナクス
sekor hawean akusu

と いうと

「ホクレ エンコムイ!」
“hokure en=komuy!”

「はやく とつてくれ!」

セコロ エタシペ ハウエアニ クス オラノ
sekor etaspe hawean hi kusu orano

と トドが いうから

アコムイ ペコロ イキアン コロ
a=komuy pekor iki=an kor

シラミを とるみたいに しながら

オクストウ アエ ア アエ ア ヒネ
oksutu a=e a a=e a hine

えりくびの ところを たべに たべた。

オラウン
oraun

そして

タネ エタシペ アラバ ノイネ ネ ヒ クス
tane etaspe arpa noyne ne hi kusu

もう トドが おきへ もどるようなので

「ホクレ アラバ、オクストウ チメス!」
“hokure arpa, oksutu cimesu!”

「とつとと いけ、くびもげやろう!」

セコロ ハウエアナン。
sekor hawean=an.

と いった。

タネ エタシペ ヘレバシ ワ アラバ ヒ クス
tane etaspe herepasi wa arpa hi kusu

もう トドが おきのほうへ いったので

オセネ ハウエアナナクス
os ene hawean=an akusu

うしろから そう いうと

エタシペ エネ ハウエアニ
etaspe ene hawean hi

トドが

「ホ、マカナケタ?」
“ho, makanaketa?”

「え? なんだった?」

セコロ ハウエアニ クス
sekor hawean hi kusu

と いうから

「『ホクレ アラバ、アコロ エタシペ!』
“ 'hokure arpa, a=kor etaspe!’

「『はやく いきなよ、トドさん』

セコロ イタカン ハウエ ネ ワ」
sekor itak=an hawe ne wa.”

と いったんだよ」

セコロ ネ アクス
sekor ne akusu

と いうと

「チヌ エウエン ペ ヘ ウン チイエ!」
"ci=nu ewen pe he un ci=ye!”

「きこえなくて いったんじやないぞ!」

セコロ ハウ EAN コロ
sekor hawean kor

と いった

イルシカ コロ ホユブ ヒネ ヤン。
iruska kor hoyupu hine yan.

おこつて すつとんで はまに あがってきた。

オロワノ コツチャウオツ キラアン イネ
orowano kotcawot kira=an hine

そこで のがれるように にげて いくと

《表記について》 カナ・ローマ字ともに、北海道ウタリ協会編『アコロイタク アイヌ語テキスト1』(1994)の表記法に準拠しました。

②

イケサンバ ワ エカ エカ コラン ア プ
i=kes anpa wa ek a ek a kor an a p

うしろから どんどん おつてきたので

トオ マク タ パイエアナクス
too mak ta paye=an akusu

ずっと やまおくまで いくと

ニテク カ タ バシクル シネブ レウ イネ
nitek ka ta paskur sinep rew hine

きの えだの うえに カラスが 1わ とまって

「フツネ ピナイ カリ
"hutne pinay kari

「せまい たにを とおつて

セブ ピナイ カリ
sep pinay kari

ひろい たにを とおつて

カーク カーク
ka:k ka:k

カー カー

フツネ ピナイ カリ
hutne pinay kari

せまい たにを とおつて

カーク カーク
ka:k ka:k

カー カー

セブ ピナイ カリ」
sep pinay kari.”

ひろい たにを とおつて」

セコロ ハウ EAN コラン ヒ クス オラウン
sekor hawean kor an hi kusu oraun

と いるので

「フツネ ピナイ カリ キラアニネ ヤク ピリカ ナンコロ」
“hutne pinay kari kira=an hine yak pirka nankor.”

「せまい たにを とおつて にげるのが いいだろう」

セコロ ヤイヌアン ベ ネ クス
sekor yaynu=an pe ne kusu

と おもつたから

ネ フツネ ピナイ トウラシ キラアン
ne hutne pinay turasi kira=an

その せまい たにを さかのぼつて にげた。

アクス
akusu

すると

イオシ エタシペ エカ プ
i=os etaspe ek a p

あとから トドが おいかけたが

ネア ピナイ フツネ プ ネ クス
nea pinay hutne p ne kusu

その たには せまいものだから

オウノウニネ イオシ エク カ エアイカピ クス
ounoun hine i=os ek ka eaykap hi kusu

からだが つかえて あとからは おつてこられない。

オロ タ サナニネ
oro ta san=an hine

それで ひきかえて

アトイコキッキキネ アライケ ヒネ
a=toykokikkikik hine a=rayke hine

ぶんなぐつて ころして

オラノ カミヒ アウニ ウン
orano kamihi a=uni un

それから そのにくを じぶんの いえへ

アルラ ア アルラ ア ヒネ
a=rura a a=rura a hine

はこんで はこんで

オラノ アエピリカ コロ アナン
orano a=epirka kor an=an

それで ゆうふくになって くらしていた。

ルウェ ネ アクス オロ タ、シネ アン ト タ
ruwe ne akusu oro ta, sine an to ta

そうしていたところ あるひ

ペナンペ サニネ、エネ ハウ EAN ヒ
Penanpe san hine, ene hawean hi

ペナンペが やつてきて こう いった。

「イネノ ウエンクル エネ ア プ
“i=nenowenkur e=ne a p

「おまえも びんぼうにんだったのに

マク エイキ ヒネ ニシバ エネ?」
mak e=iki hine nispa e=ne?”

どうやって もうけたんだ?」

エタシペ コムイ (パナンペとペナンペ トドのシラミ)

③	
セコロ ハウエアニ クス sekor hawean hi kusu	と いうから
「エキベ コロ アエパシクマ ナ」 “ek. ipe kor a=e=paskuma na.”	「こいよ。たべながら おしえるよ」
セコロ パナンペ ハウエアナクス sekor Pananpe hawean akusu	と パナンペが いうと
「ホシキ タシ チヌ ロク ペ!」 “hoski tasi ci=nu rok pe!”	「とつくに きいたよ!」
セコロ ハウエアン コロ sekor hawean kor	と いうて
アパ サムン クチッ テキネ、オラウン apa sam un kucir tek hine, oraun	とぐちの よこに さっと オシッコをした。それから
トオ ペナンペ ピシ タ サン アクス too Penanpe pis ta san akusu	ペナンペが はままで おりと
ソノ カ スイ エタシペ ヤニネ アン ヒ クス sonno ka suy etaspe yan hine an hi kusu	やっぱり また トドが はまに あがっていたので
「アエコムイ ナ、エタシペ!」 “a=e=komuy na, etaspe!”	「シラミを とってあげるよ、トドさん!」
セコロ ハウエアン コロ sekor hawean kor	と いうと
「ヘタコクレ イコムイ ウン!」 “hetak hokure i=komuy un!”	「さあ はやく とってくれよ!」
セコロ ハウエアン ヒネ、オラノ sekor hawean hine, orano	と いうから
ネア ペナンペ エタシペ コムイ コロ nea Penanpe etaspe komuy kor	ペナンペは トドの シラミを とりながら
オクストウ エ ア エア エア コロ oksutu e a e a e a kor	えりくびの ところを たべに たべて
コムイ ペコロ イキ コロ アン komuy pekor iki kor an	シラミを とるみたいに していると
アイネ ayne	やがて
エタシペ ヘレパシ レプン ヒ クス etaspe herepasi repun hi kusu	トドは おきへ かえって行くので
「ホクレ アラパ、オクストウ チメス!」 “hokure arpa, oksutu cimesu!”	「とつとと いけ、くびもげやろう!」
セコロ ペナンペ ハウエアン アクス sekor Penanpe hawean akusu	と ペナンペが いうと
「ホ、マカナケタ?」 “ho, makanaketa?”	「え? なんだつて?」
セコロ エタシペ ハウエアニ クス sekor etaspe hawean hi kusu	と トドが いうから
「『ホクレ アラパ、アコロ エタシペ!』 “ 'hokure arpa, a=kor etaspe!'	「『はやく いきなよ、トドさん』
セコロ ハウエアナナウェ ネ ワ」 sekor hawean=an hawe ne wa.”	と いったんだよ」
セコロ アナクス sekor an akusu	と いうと
「チヌ エウエン ペ ヘ ウン チイエ!」 “ci=nu ewen pe he un ci=ye!”	「きこえなくて いったんじゃないぞ!」
セコロ ハウエアン コロ sekor hawean kor	と いうて

《表記について》 カナ・ローマ字ともに、北海道ウタリ協会編『アコロイタク アイヌ語テキスト1』(1994)の表記法に準拠しました。

④	
エタシペ イルシカ コロ ホユプ ヒネ ヤン ヒ クス etaspe iruska kor hoyupu hine yan hi kusu	トドは おこつて すつとんで はまに あがってきた。
オラノ orano	そこで
ペナンペ キラ ヒネ ヘマカシ ワ アラパ アクス Penanpe kira hine hemakasi wa arpa akusu	ペナンペは やまへ むかって にげていき
トオ マク タ too mak ta	ずっと やまおくまで いくと
ニテク カ タ パシクル シネプ レウ イネ nitek ka ta paskur sinep rew hine	きの えだの うえに カラスが 1わ とまって
「カーク カーク “ka:k ka:k	「カーア カーア
フツネ ピナイ カリ hutne pinay kari	せまい たにを とおつて
カーク カーク ka:k ka:k	カーア カーア
セプ ビナイ カリ」 sep pinay kari.”	ひろい たにを とおつて」
セコロ ハウエアン コラニ クス sekor hawean kor an hi kusu	と いうているので
ペナンペ エネ ヤイヌ ヒ Penanpe ene yaynu h	ペナンペは
「セプ ビナイ カリ キラアニネ ヤク タシ “sep pinay kari kira=an hine yak tasi	「ひろい たにを とおつて にげたら
シリセプ ワ キラアネニタン ネク!」 sirsep wa kira=an enitan nek!”	ひろくて はやく にげられるぞ!」
セコロ ペナンペ ヤイヌ プ ネ クス sekor Penanpe yaynu p ne kusu	と おもったものだから
セプ ビナイ カリ ペナンペ キラ アクス sep pinay kari Penanpe kira akusu	ひろい たにを とおつて ペナンペは にげた。すると
ネイ パクノ カ エタシペ イケサンバ エアシカイ ペ ネ クス nei pakno ka etaspe ikesanpa easkay pe ne kusu	どこまでも トドは おいかけることが できたので
ペナンペ オシコニ ヒネ Penanpe osikoni hine	ペナンペに おいついて
ネア ペナンペ アトイコライケ ヒネ nea Penanpe a=toykorayke hine	ペナンペは ぶつころされて
トゥ ライ ウエン ライ ワ イサム。 tu ray wen ray wa isam.	ひどい しにかたで しんでしまった。
ペナンペ ライ ワ イサム ルウェ ネ クス Penanpe ray wa isam ruwe ne kusu	ペナンペは しんでしまったのだから
タネ オカ ペナンペ tane oka Penanpe	いま いる かわかみのものよ
イテキ イコイサンバ ヤク ビリカ! iteki ikoysanpa yak pirka!	けっして ひとまねを するんじゃないよ!
セコロ アン ペナンペ ウエペケレ クイエ ハウエ ウン。 sekor an Penanpe uepeker ku=ye hawe un.	……という ペナンペの はなしを しましたよ。
エネ アン ウエペケレ ene an uepeker	こういう はなしを
エカシ フチ ウタラ イエ ヒ ネ ア ワ。 ekasi huci utar ye hi ne a wa.	おじいさん おばあさんが いていたからね。
パクノ カ。 pakno ka.	おしまい。